

会 議 録

会議の名称	令和８年度第１回スポーツ推進審議会
事務局	生涯学習部生涯学習課
開催日時	令和８年４月１６日（水）１８時００分から１９時１５分まで
開催場所	市役所第二庁舎８階８０１会議室
出席者	会長 太田 あや子 委員 副会長 三枝 敏洋 委員 委員 服部 啓次郎 委員 岩城 智仁 委員 檀原 延和 委員 中村 秀至 委員 根本 将英 委員
欠席者	岩重 珠々 委員 田中 幸夫 委員 山田 裕己 委員
事務局	生涯学習部長 平野 純也 生涯学習課長 濱松 俊彦 スポーツ振興係長 高野 修平 スポーツ振興係主任 津田 理恵 スポーツ振興係主任 松崎 裕之
傍聴の可否	☒ 可 一部不可 不可
傍聴者数	０
傍聴不可等の理由等	－
会議次第	１ 委嘱状の交付 ２ 自己紹介 ３ 正副会長の互選 ４ 第２次小金井市スポーツ推進計画に係る諮問について ５ 会議の運営等について ６ 第２次小金井市スポーツ推進計画に係る進捗確認について ７ スポーツ環境の整備について ８ 令和８年度スポーツに係る予算について ９ スポーツ団体に対する補助金交付について １０ 令和８年度スポーツ推進審議会スケジュールについて １１ その他
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり
提出資料	別紙のとおり

濱松課長 それでは、定刻となりましたので、開会させていただきたいと思
います。

 会長が決まるまでの間、司会進行を務めさせていただきます、生
涯学習課長の濱松と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

 本日は、田中委員、山田委員から欠席の連絡を受けてございます。
お一人は受けておりませんので、少し状況が分からないところあり
ますけれども、定刻になりましたので進めさせていただきたいと思
います。

 なお、今回は第3期の委員の皆様最初の会となりますので、委嘱
状を机上に配付させていただいてございます。任期につきましては、
委嘱状に記載のとおり、令和10年2月13日までとなっておりますので、改めて御確認をお願いいたします。

 続きまして、配布資料の確認をいたします。事務局から説明をお
願いします。

(配布資料の確認)

濱松課長 続きまして、自己紹介に移りたいと思います。
まずは事務局から挨拶をさせていただきます。
小金井市教育委員会教育長の大熊でございます。

大熊教育長 こんにちは。よろしくお願いいたします。

濱松課長 生涯学習部長の平野でございます。

平野部長 こんにちは。よろしくお願いいたします。

濱松課長 改めまして、私、生涯学習課長の濱松と申します。どうぞよろし
くお願いいたします。

 続きまして、スポーツ振興係長の高野でございます。

高野係長 高野と申します。よろしくお願いいたします。

濱松課長 同じく主任の津田でございます。

津田主任 津田と申します。よろしくお願いいたします。

濱松課長 同じく主任の松崎でございます。

松崎主任 松崎と申します。よろしくお願いいたします。

濱松課長 続きまして、恐れ入りますが、各委員から自己紹介をお願いしたいと思います。着座のままで構いませんので、三枝委員から順番に一言いただいてよろしいでしょうか。

三枝委員 こんにちは。今回就任しました三枝と申します。一応、小金井市のスポーツ推進委員の今期から会長になりました。推進委員は今年で27年目です。所属は、サッカー協会のほうで理事長をしています。よろしくお願いいたします。

濱松課長 服部委員、お願いいたします。

服部委員 皆さん、こんばんは。NPO法人黄金井倶楽部の副理事長をやっております服部と申します。今回、3期目になります。またよろしくお願いいたします。

濱松課長 岩城委員、お願いいたします。

岩城委員 総合体育館の館長をしております岩城と申します。よろしくお願いいたします。今年、2期目になります。よろしくお願いいたします。

濱松課長 檀原委員、お願いいたします。

檀原委員 小金井市立南小学校の校長の檀原といいます。小金井市の小・中学校長会のほうからの派遣になります。3期目になります。自分もスポーツ大好きで、毎週やっていますので、ぜひ審議もより活性化になるように少しでも力になればいいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

濱松課長 では、根本委員、お願いいたします。

根本委員 今、個人事業で学生スポーツのトレーニング指導であったりとか、また、4時から小学生に向けた運動教室を開いたりとか、個人でパーソナルトレーニングという形で働いたりしています。よろしくお願いします。

濱松課長 中村委員、お願いします。

中村委員 中村と申します。初めてなので、多少、どんな者か、男かということをお紹介いたしますと、私は、生まれてこの方、スポーツが得意とか言ったことも言われたこともない、運動音痴みたいな者なんですけれども、ひょんなことから学生時代にアイスホッケーをやることになったんです。18歳でアイスホッケーを始めて、今でもやっているということで、先週の週末に年寄りの全国大会が神戸でありまして、それも参加してきました。うまくはないとか得意じゃなくても、一生楽しめるようなスポーツを自らやったり、日本アイスホッケー連盟で、マイナーな競技をいかに普及させるかとか、いかにしてお金を集めるかとか、そういうことで多少の苦労はした経験がございます。何がしかのヒントがこの場で御提供できればということで参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

濱松課長 ありがとうございます。
それでは、太田委員、お願いいたします。

太田委員 太田あや子と申します。今回、2期目となります。埼玉県にあります男女共学のスポーツ系の短期大学、武蔵丘短期大学を3年前に定年退職しまして、今は短期大学にあります総合型地域スポーツクラブの事務局長を務めております。大学で授業を担当していましたのは、こういったスポーツ行政論という、国が何をやっているかということと、それから、あと実技のほうは水泳とスキューバダイビングを教えていました。今も趣味でスキューバダイビングをしています。どうぞよろしくお願いします。

濱松課長 皆様、ありがとうございました。

続きまして、正副会長の互選を行いたいと思います。会長につきましては、スポーツ推進審議会条例第5条の規定によりまして、委員の互選によって定めるものとされてございます。指名推選により行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

濱松課長 ありがとうございます。御異議なしと認めます。
どなたか御推薦いただけますでしょうか。服部委員、お願いします。

服部委員 黄金井倶楽部の服部です。
私のほうから、会長には太田先生を御推薦させていただきたいと思います。太田先生は、長年にわたってスポーツ行政に関する教育に携わられるだけじゃなくて、他の行政の附属機関の委員ですとか総合型地域スポーツクラブの活動に長く深く関与されてきた実績をお持ちだと聞いております。このような幅広い知識と、それからこれまでに培われてきた御功績を兼ね備えられた方として、会長に推薦させていただきたいと思います。

濱松課長 ただいま服部委員から、太田委員を会長にと御推薦いただきました。これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

濱松課長 御異議なしと認めます。それでは、太田委員を会長にすることに決しました。

これより先の議事進行につきましては、太田会長にお願いしたいと存じます。太田先生、会長席のほうに御移動いただきまして、一言御挨拶をお願いいたします。

太田会長 改めまして、皆様、こんばんは。今、大任を引き受けることとなりました太田でございます。2期目ということで、何となくこの審議会の仕事が分かってきたところですけども、市のほうの諮問事項に答えを出していく、しかも、本格的な審議のチャンスとしては

3回ぐらいしかございません。それぞれのお立場でいろいろな情報をお持ちだと思いますので、小金井市の今後のスポーツが盛んになるような、いい御意見をたくさん出していただきまして、御協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、着座にて進めさせていただきます。

続きまして、副会長の互選を行いたいと思います。副会長につきましては、条例第5条の規定により、委員の互選によって定めるとされておりますが、指名推選により行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

太田会長

異議なしと認めます。

どなたか御推薦いただけますでしょうか。では、服部委員、お願いします。

服部委員

度々申し訳ございません。私のほうから副会長のほうの推薦も差し上げたいと思います。副会長には、隣にいらっしゃいます三枝委員を推薦させていただきたいと思います。三枝委員は、スポーツ推進委員を長年務めておられますとともに、小金井サッカー協会でも活躍されていると。それだけじゃなくて、実は黄金井倶楽部のいろんなイベントにも協力をいただいているというような方でございます。長年にわたって小金井市のスポーツ振興に多大な功績をお持ちだということですので、ぜひ今回は副会長をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

太田会長

服部委員から、三枝委員を副会長にと御推薦いただきました。御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

太田会長

それでは、異議なしと認めて、三枝委員に副会長をお願いしたいと思います。

では、三枝委員、副会長の席のほうにお移りいただき、一言御挨拶をお願いいたします。

三枝委員

改めまして、三枝と申します。

何をやればいいのかというのはちょっとよく、私も初めてなので分かりませんが、一応、推進委員として27年目、東京都のほうの推進委員も今回で13年目ですかね。研修の委員長をやっていますので、東京都さんのほうと情報交換とかそういうこともやっておりますので、なるべく早く小金井市に情報を下ろして、スムーズに運営できるように協力していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

太田会長

よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

では、続きまして、議題の(2)、第2次小金井市スポーツ推進計画に係る諮問についてを議題としてまいりたいと思います。事務局よりお願いいたします。

濱松課長

それでは、小金井市スポーツ審議会条例に基づきまして、諮問の手続に入らせていただきます。恐れ入りますが、教育長と太田会長は御起立ください。それでは、教育長から諮問をお願いいたします。

大熊教育長

小金井市スポーツ推進審議会様。

第2次小金井市スポーツ推進計画に係る諮問について。

小金井市スポーツ推進審議会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問いたします。

諮問事項。(1)第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗について。(2)スポーツの推進に関する重要事項の調査審議について。

以上、よろしくお願いいたします。

(諮問書手交)

太田会長

承知いたしました。ありがとうございます。

濱松課長

それでは、諮問は終了いたしましたので、教育長から御挨拶をさせていただきます。

大熊教育長

改めまして、こんばんは。今諮問をさせていただきました、この

第2次小金井市スポーツ推進計画をもう一度見直していただくということになるんですが、ちょっとこのページをめくっていただきますと、14ページに小金井市及び周辺都市の平均寿命、65歳健康寿命というのが書いてあります。これ、実は古いんです。現在は小金井は26市で1位、男子は1位、女子は残念ながら3位に落ちてしまいましたが、それでも高い水準にあります。なぜそういうことができるんでしょう。やはり小金井市がそういう形で健康寿命が伸びているということは、日常的にスポーツに親しんでいる人が多いということではないんでしょうか。もちろん、健康についての知識、理解がしっかりしていて、栄養も、睡眠も、そういう様々な問題がもしかしたらしっかりと整えられているからこういう結果になっているのかもしれませんが。だけど、ですけどですよ、やっぱり、様々なものが整っていても、体を動かすこと、スポーツに親しむことが何より大事なのではないかなと考えます。

もう一つ見ていただくと、この目標のところに、週に1回以上スポーツに親しむのが今、35ページに、週に1回以上スポーツを実施している市民の割合が63%であり、これは最終的に70%まで持っていきたい。これは本当に重要なことなんじゃないかな。健康寿命を維持し、さらに発展させるというのは、これは大変なことだろう、今までのやり方をやっていたのでは難しいだろう、そんなふうに思います。この週に1回以上スポーツに親しむ数というのを、具体的にこれはアンケートで出てきてしまいますので、それをやるためにはどうしたらいいのか。申し訳ないんですけど、高止まりになっているんだろう。スポーツに親しむ人はある程度やっているけど、ここから1%増加させるというのは、今までにスポーツに親しんでいない人がスポーツに親しむという非常にハードルが高いことになるのではないかな、そんなふうに思うわけであります。

そのためにも皆さんに、どのようにしたら市民がスポーツに親しんで、健康寿命をより延ばしていくか、そのところを皆さんに厳しく指摘していただき、それを市の施策に反映していきたい、そんなふうに思うわけでございます。この計画が絵に描いた餅にならないで、市民一人一人の健康寿命を延ばし、人生100年時代を謳歌できる市民に1人でも多くなってもらうために、皆さんからの貴重な意見を施策に反映してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

太田会長 よろしく願いいたします。

濱松課長 教育長、ありがとうございました。
 ここで、教育長は公務がございますので退席させていただきます。
御承知おきください。

大熊教育長 よろしく願いいたします。
 どうぞよろしくお願いいたします。

(教育長退席)

太田会長 ありがとうございました。
 それでは、議題のほうに移らせていただきます。
 まず、会議の運営等につきまして、事務局より御説明をお願いいたします。

津田主任 資料４の「会議の運営等について（案）」という資料を御覧ください。

 １の（１）、会議録の作成方法について確認をさせていただきたいと思います。市民参加条例施行規則第５条に従って、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録、この３つのうちどれにするかを決めていただきたいと思います。事務局といたしましては、全文記録で作成したいと考えております。

 その下の（２）ですが、会議録につきましては、条例第７条第１号において、附属機関等の会議録を公開するよう努めなければならないと定められています。会議録は、委員の皆様にご内容を御確認いただき、確認が終わりましたら、ホームページに掲載するとともに、第二庁舎６階の情報公開コーナー等に据え置き公開いたします。

 続いて、その下の（３）ですが、会議録を作成するため、録音させていただきます。御発言をいただきます際には、恐れ入りますが、最初にお名前をおっしゃっていただきますよう御協力をお願いいたします。

 その下の２、会議の公開についてですが、市民参加条例第６条の規定により、市の附属機関等の会議は公開することとなっております。

すので、公開しています。

その下、3の会議の傍聴については、小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領に従って運営していきたいと考えております。

続いて、4、「意見・提案シート」につきまして、これは傍聴の方の御意見をお伺いするため設置するものです。資料4の裏面、こちらが実際の「意見・提案シート」ですので、こちらも併せて御覧ください。今後の取扱いとしては、「意見・提案シート」を設置した上で、記名があるものは氏名も含めて正式資料として、無記名の場合は参考資料とさせていただき、内容については、委員の方から審議に取り上げたいと申出があった場合は審議を行うという扱いで考えております。また、提出の期日ですが、会議開催の1週間前までに届いたものについては事前配付資料として委員の皆様へ送り、それ以降に届いたものについては当日配付することとしております。

事務局としては、このような取扱いで考えておりますが、いかがでしょうか。

太田会長

ただいま事務局のほうから、会議録の作成方法と会議の公開、会議の傍聴、「意見・提案シート」の取扱いについて御説明がございました。事務局提案の取扱いということですのでよろしいでしょうか。特に何かございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

太田会長

では、異議なしと認めます。それでは、このように決定します。どうもありがとうございました。

では、続きまして、(6)ですね。第2次小金井市スポーツ推進計画に係る進捗確認についてに移りたいと思います。事務局より御説明をお願いいたします。

津田主任

第2次小金井市スポーツ推進計画に係る進捗確認について御説明いたします。

まず、計画の概要から御説明いたします。A3二つ折りの概要版を御覧ください。見開きの左端の縦書きの言葉、「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」というのを基本理念として、3つの基本方

針ごとに各種施策を実施していきます。例えば、基本方針１、「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」では、基本施策１－１、「子どもの運動・スポーツ活動の推進」をはじめとして１－１から１－５までの施策があり、それぞれの施策の右側に具体的なアクションとして主な取組を提示しています。例えば基本施策１－１の主な取組では、「誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施」として、子どもたちが体を動かすことやスポーツを楽しめる教室等を行います。このように、ほかの施策においても基本方針に基づいて基本施策が設定され、それぞれに主な取組が示されています。

この計画の期間は令和５年度から令和１２年度までの８年間としており、毎年、前の年の進捗状況や達成度を確認していきますが、今年度は令和７年度の実績を確認していきます。現時点では令和７年度の実績はまとまっていませんが、次回の会議以降お示しいたします。昨年度はこの審議会において令和６年度の実績を確認しましたので、本日はその結果を御説明いたします。

資料５を御覧いただき、表紙をおめくりください。個別の評価の前に、全体をまとめて評価したページになっています。

３、基本方針ごとの進捗状況の概要として、３つの基本方針ごとの総合評価を載せています。

（１）、「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」では、基本施策１－１から１－５の取組においておおむね順調だったことから、総合評価をＢとしました。

（２）の「運動・スポーツを通した健康づくり」では、こちらも順調な成果が見られたとして、評価をＢとしました。

最後に（３）、「運動・スポーツ環境の充実」では、引き続き施設への市民ニーズが高いことから、評価をＣとしました。

３ページに移ります。基本方針ごとの評価指標の推移の表です。

一番上、基本方針１について、「週一回以上運動・スポーツを実施している市民の割合」では、令和５年度の５２．１％から、令和６年度は５４．６％に増加しました。

続いて、基本方針２、「自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合」は７３．５％から７６．６％になりました。

次の基本方針３、「市スポーツ施設の利用者数」は、３９．５万人から４０．７万人になりました。

隣のページに移ります。このページから個別の評価が始まります。

最初は1－1、「子どもの運動・スポーツ活動の推進」という項目です。真ん中辺りのグレーの網かけ、「誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施」、その下のグレーの網かけ、「中学校運動部活動の地域移行への対応」、それぞれのグレーの下に「評価の理由」とありますが、ここに令和6年度の実績を記述しております。よかったことと課題が一目で分かるよう、文頭に○や△をつけています。このページでは、土曜スポーツクラブ、スポーツフェスティバル等の取組を○として挙げています。△は、土曜スポーツクラブについての周知方法のことなどが書いてあります。グレーの網かけの上のほうの「誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施」という記載の右側に評価の欄がありますが、ただいま申し上げた△によりCとなっています。下の「中学校運動部活動の地域移行への対応」では、検討委員会の開催、市内中学校での地域連携の実証実験について記載し、評価をBとしました。1－1全体の評価は、ページの右上にあります。努力を要する部分があることからCとしました。

次のページに移ります。1－2、「働き盛り・子育て世代の運動・スポーツ活動の推進」です。「働き盛り世代が家族で楽しめる運動・スポーツプログラムの実施」では、ジュニアサッカーフェスティバルなどについて○で記載しています。ジュニアサッカーフェスティバルでは、サッカー協会さんとFC東京さんと相談し、定員より多い人数の応募者を受け入れたということです。今回は評価をBとしています。次の「参加しやすく楽しめる運動・スポーツプログラムの実施」では、スポーツフェスティバルについて記述し、評価をBとしました。東京都によるパラスポーツ体験プログラム「TEAM BEYOND」を記載しています。このページ全体の評価は、右上のボックスにあるとおり、Bとしました。

次のページ、1－3、「高齢者の運動・スポーツ活動の推進」では、該当の取組を記述し、個別、全体の評価ともBとしています。

おめくりいただき、1－4、「障がい者の運動・スポーツ活動の推進」では、該当事業を記載するとともに、△ではインクルーシブスポーツの普及啓発やスポーツボランティアの情報提供について記載しています。

次のページ、1－5、「競技能力・指導力向上への支援」では、個別の評価、全体の評価ともBとしています。ページのちょうど真

ん中の辺り、野川駅伝に日本郵政女子陸上部の皆さんに参加していただいたので、トップアスリートによる走りを間近で見られる機会となったと記載しています。

続いて、２－１、「健康の維持・増進活動支援」についても、ポールウォーキング教室等、該当の事業を記載し、個別、全体の評価ともにＢとしました。

続いて、２－２、「運動・スポーツに興味・関心を持つ機会の充実と情報発信の強化」。上の「気軽に参加できるスポーツイベントの実施」では、スポーツフェスティバルやＦＣ東京関連イベントを記載し、評価をＢとしました。下の「様々な広報媒体の活用・連携、広報手段の改善・充実」では、△の項目として、広報の工夫・改善を進めると記入し、評価はＣとしています。２－２全体では評価をＣとしました。

続いて、３－１、「安全で快適に運動・スポーツができる場の充実」です。グレーの網かけの上のほう、「安全・快適な公共スポーツ施設環境整備」では、△として、総合体育館の雨漏りなど施設の不具合を挙げ、評価をＣとしました。下の「学校施設・民間施設の市民開放」では、テクノスカレッジやメガロス武蔵小金井との連携事業を記載し、Ｂとしました。さらに、「安全な施設利用の推進」では、暑さ指数などの注意喚起を記載し、Ｂとしています。３－１全体では評価をＣとしています。

次のページ、３－２、「運動・スポーツを支える体制の充実」では、「スポーツ関連団体等との連携推進」で、ＦＣ東京の市民招待試合の日に市民の小学生や高校生と協力して農業振興や文化財分野のＰＲを行ったことを記述したほか、先ほども申し上げた野川駅伝の日本郵政女子陸上部の参加などを記載し、評価はＢとしています。「地域との連携による運動・スポーツを支える体制の充実」では、△でスポーツボランティアの情報提供について記載し、Ｃとしました。３－２全体では評価はＣとしています。

説明は以上です。

太田会長

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明が終わりました。この件につきまして、御質問等ありましたら、挙手をして、お名前を言ってから御発言をお願いいたします。

引き続きの委員の先生方、いかがですか。

それでは、特にないようでしたら、議事を進めさせていただきます。では、進みまして、それでは、議題（７）のスポーツ環境の整備についてに移ります。事務局より御説明をお願いいたします。

濱松課長

今年度、予算規模や市民への影響の大きい、大きな工事を予定しておりますので、本審議会でご報告をさせていただきます。それでは、まず、私の後ろの画面を御覧ください。

予定しておりますのは、上水公園運動グラウンドの改修工事と総合体育館の主に大体育室のＬＥＤ化工事でございます。２件の概要といたしましては、御覧いただいている表のとおりです。

総合体育館はＬＥＤ化に伴う工事ですが、高所の取替えというところで、使用できない期間が比較的長くなります。

上水公園運動施設につきましては、４０年近く大きく手を入れていなかったため、凸凹や、軽石が地上に出てきてしまっているような状況の改善を図ります。上水公園運動施設は、法令に基づき、工事の前に土壌汚染調査という調査が必要となるため、そのための費用も併せてお示ししております。

上水公園のほうは、工事の費用で大体４，７００万、８００万ぐらいで、土壌汚染調査が１，０００万、ＬＥＤ化の工事のほうは８，０００万、このように比較的高額な工事となっております。

いずれの工事も、使用できない期間が生じてしまいます。上水公園運動施設につきましては現在の予定では１１月初旬から１２月初旬頃の１か月程度、総合体育館につきましては１月中旬から３月下旬の２か月程度、使用できない期間が生じてしまうということになっておりますが、いずれも利用団体には昨年度説明をして、一定の御理解をいただいているところでございます。

続いて、それぞれの工事について説明いたします。

まずは上水公園運動施設でございます。場所は市内の北西部にございまして、第一中学校、第二小学校が北側、特別支援学校が道路向かいの東側にございます。南側と西側の南部、この辺りにございましては住宅街となっております。グラウンドは、野球でいうと２面、こちらのほうとこちらのほうで２面取れる状況になっております。テニスコートも２面、上部、北側に２面ございまして、グラウンドといたしましては、市内の唯一の屋外グラウンドとなっております。

います。野球、サッカーができる屋外グラウンドは、市の運動施設としてはここだけという状況でございます。改修工事につきましてはグラウンド部のみですが、グラウンド全体で施工方法が少し異なっております。野球の内野部分、この運動場の少し色が、土が黒くなっている部分につきましては、水はけをよくするために軽石が現在は地中に埋められてございます。この軽石が、長年の使用で表層の土が削られておりまして、雨が降ると地表に浮かび上がってくるというような状況になってございます。改修前、現在の状況でございます。昨年9月に少年野球連盟の関係者及び児童に御協力いただきまして、1時間弱程度、石拾いを行いました。この際の写真で、浮かび上がってくる軽石が一番左の写真でございます。比較的石が大きいということがお分かりになるかと思います。この1時間弱の短時間で集まった石が真ん中の写真でございます。一輪車2台分集まったということで、この一番左のサイズの石がごろごろしていると、野球のスライディングだけではなくて、ほかの利用においても、特に児童の転倒の際のけがのリスク等が心配されるところでございます。一番右はピッチャーマウンドの写真でございます。マウンド、山の部分でございますけれども、この土がかなり痩せて低くなっております。プレートの部分、基礎みたいな部分も見えてしまっているような状況でございます。ほかにも、不陸（「ふりく」または「ふろく」）、いわゆる凸凹が1塁と2塁、2塁と3塁の間、ランナーが走るところに少し溝ができてしまっているような状況でございます。野球のみならず、サッカー、ほかの利用団体の方にも少し支障が出てしまうというような状況でございます。大規模な修繕工事の必要性が生じているところでございました。これらの改善を図るために今後の工事を入れるものでございます。

続いて、総合体育館でございます。総合体育館は市内の北東、小金井公園の中でございます。場所的にも、小平、西東京、武蔵野の市境に接しておりまして、栗山公園健康運動センターと比べると、市外利用者が多いという特徴がございます。体育館、アリーナだけではなくて、温水プールなどのほかの運動施設も備えてございます。運営につきましては、指定管理者、岩城委員の指定管理のところでお願いしているところでございます。工事の内容はLEDの交換となりますが、まず、体育館の天井が高いので、体育館フロアに足場を組む必要が生じます。また、家庭用の電球交換のイメージとは異

なりまして、ＬＥＤ化に際しましては照明器ごと交換する必要がございます。この規模の体育館ですと、御覧いただくと分かるとおり、かなりの照明器具の数もございますので、どうしても時間と費用がかかってしまうというような内容になっております。また、アリーナは地下１階部分にございますが、１階部分のアリーナの周りを囲むようにランニングゾーン、一番右の写真のこの部分がございます。この上の照明も併せてＬＥＤ化する予定となっております。また、プールにつきましては非常灯のみＬＥＤ化いたしますが、体育館に比べれば数が少なく、使用できない期間は短くなります。いずれにせよ、使用できない期間が出ることは市報等を通じて適切に周知してまいります。体育館のその他の箇所につきましてはＬＥＤ化済みとなっておりますので、本年度の施工をもって総合体育館のＬＥＤ化は完了となる予定でございます。

スポーツ環境の整備につきましての説明は以上となります。

太田会長 事務局の説明が終わりました。御質問等ありましたら、挙手をして、お名前を言ってから御発言お願いいたします。

関係の岩城委員のほうから何かございますか。よろしいですか。

岩城委員 大丈夫です。

太田会長 よろしいですか。はい。

ほか、皆様、いかがでしょうか。

特にないようでしたら、議事を進めさせていただきます。それでは、（８）ですね。令和８年度スポーツに係る予算について、事務局より説明をお願いいたします。

濱松課長 それでは、議題の（８）、令和８年度スポーツに係る予算についてを御説明いたします。まず、資料６を御覧ください。本件は、令和８年第１回小金井市議会定例会において御議決いただいたものになります。

初めに歳入になりますが、スポーツ振興係が所掌する歳入につきましては、２，０８８万円、前年から５００万８，０００円の減となっております。理由は、東京都による補助金の減と昨年幹事市を務めました市町村総合スポーツ大会の交付金が全額削減となったこ

とによります。

続きまして、歳出でございます。歳出につきましては、4億9,646万2,000円、前年から1,316万4,000円の増となっております。増の主な理由は、先ほど申し上げました上水公園運動施設グラウンド改修工事、また、栗山公園健康運動センターのエレベーター改修工事などによるものでございます。

令和8年度の主な事業について併せて説明させていただきます。

上から3つ目、スポーツ教室・各種大会に要する経費は、373万1,000円の減となっております。先ほど歳入の説明で市町村総合スポーツ大会の交付金が削減したとお伝えいたしましたが、大会の幹事市業務を担うための会計年度任用職員の報酬及び手当も同様に全額削減となったため、大幅な減少につながっております。

次に、下から5つ目、学校部活動の地域展開に要する経費は、令和7年度で学校部活動の地域連携に関する検討委員会の任期が終了いたしましたので、これに関連する費用である委員報酬や委託料が全額削減されております。令和8年度は、土日に運動部の地域クラブを運営するための委託料も予算に計上しております。このクラブは、市域内の複数の中学校の生徒が参加可能な形で運営をされる予定でございます。

続いて、下から4つ目、上水公園運動施設等維持管理に要する経費では、5,891万4,000円の増となっております。先ほども申し上げましたが、上水公園運動施設グラウンドの改修工事や、その前に実施する土壌汚染状況調査によるものでございます。

その下の総合体育館維持管理に要する経費では、5,262万3,000円の減となっております。今年は照明のLED化工事を行う一方で、昨年実施いたしました屋根の防水工事や剣道場の空調工事につきましては今年を行わないため、全体としては費用は減額となります。

一番下の栗山公園健康運動センター維持管理に要する経費でも、エレベーター改修工事を計上したことが主な要因となり、942万7,000円の増額となりました。

説明につきましては以上でございます。

太田会長

ありがとうございました。

事務局の説明が終わりました。何か御質問等ありましたら、挙手

をして、お名前を言ってから御発言をお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、（９）番のスポーツ団体に対する補助金交付についてに移ります。事務局から説明をお願いいたします。

濱松課長

それでは、議題の（９）、スポーツ団体に対する補助金交付についてを御説明いたします。資料７を御覧ください。「令和８年度スポーツ関係団体への補助金交付額（内訳と昨年度との比較）」になります。小金井市の補助金を交付しているスポーツ関係団体は２団体ございます。１つが公益財団法人小金井市体育協会で、３４種目の連盟とスポーツ少年団が属している団体となります。もう一つがＮＰＯ法人黄金井倶楽部で、小金井市の総合型地域スポーツクラブになります。なお、先ほどの資料では金額を１，０００円単位で表示しておりましたが、この資料では円単位で表示させていただいております。

上の公益財団法人小金井市体育協会の合計額は１，２１１万９，７５６円でございます。増減を見てみると、事務費補助が２万４，６０３円増、事業費補助のうち、２の指導者派遣が２万６，０００円減、３の青少年スポーツ育成が５万１，０００円の増、６の各種大会共催費が６万３，６００円の減、７、体育館等使用料補助が６，４００円増となり、合わせると昨年から７，５９７円の減となっております。

続いて、下のＮＰＯ法人黄金井倶楽部の合計を御覧いただくと、２８７万９，０３２円、昨年から１２万３，２７６円の増となっております。主に人件費の増によるものでございます。

一番下の３、１、２の合計は２つの団体の補助金の合計でございますが、令和８年度は１，４９９万８，７８８円で、１１万５，６７９円の増となります。なお、本金額は、両団体とも年度当初の交付決定（予定）額となりまして、年度終了後に提出される実績報告に基づき確定されます。

説明につきましては以上でございます。

太田会長

事務局の説明が終わりました。御質問等ありましたら、挙手をして、お名前を言ってから御発言をお願いします。

関係団体の皆様、よろしいでしょうか。ほかの皆様、いかがでし

よう。よろしいですか。

特にないようでしたら、議事を進めさせていただきます。次、（１０）番になります。（１０）番の令和８年度スポーツ推進審議会スケジュールについてです。事務局より御説明をお願いします。

津田主任

資料８を御覧ください。スポーツ推進審議会のスケジュール（案）です。皆様、日程調整に御協力いただきまして、ありがとうございました。

年間の予定をお知らせいたします。まず、本日が第１回、４月１６日です。この後、第２回は８月７日金曜日に決定させていただきたいと思います。第３回が１１月１２日に開催予定です。内容としては、スポーツ推進計画の進捗確認を行う予定です。また、第４回を四者合同会議として開催予定です。四者合同会議は、生涯学習部の４つの審議会である、社会教育委員の会議、公民館運営審議会、図書館運営審議会、そして、ただいま開催しておりますスポーツ推進審議会の４つの会議の合同会議です。小金井市の生涯学習を進めていく審議会として、４つの団体の皆様が一堂に会し話し合うものです。日程については、また後ほど御連絡させていただきます。

説明は以上です。

太田会長

今、事務局より説明がありました。このスケジュール等につきまして、何か御質問等ありましたら、挙手して、お名前を言ってから御発言をお願いいたします。事前に皆様にスケジュール調整の連絡があつて、その中で一番いいスケジュールを決めたということですね。第４回のほうはまたこれからということですね。

津田主任

はい。第４回については、恐らく次の幹事審議会から連絡があると思います。

太田会長

次の幹事委員会はどこになりますか。

津田主任

図書館協議会です。

太田会長

図書館ですね。

年度末に４つの委員会の審議委員が集まって、それぞれ１人か２

人ずつグループになって、それぞれのいろいろなところでやっている活動と自分たちの審議しているこの活動をどのように結びつけていったらいいとか、そういうことを話し合う機会となっております。昨年度御参加いただいた方にはいろいろ御意見を頂戴して、昨年度はこのスポーツ推進審議会が担当だったんですけれども、いろいろな御意見を、私たちが気がつかないところや、また他の市や区の事例なども挙げていただきまして、具体的にいろいろ一緒にできること、コラボレーションができるんじゃないとか、そういった案もいただいておりますので、また皆様もぜひ御参加いただいて、この４回目の会議のほうもスケジュールに入れていただければと思います。決まりましたら、また御報告をお願いいたします。

何かほかにございますでしょうか。スケジュールについて、よろしいですか。

それでは、先に進めさせていただきたいと思います。最後になります。（１１）番のその他に移ります。委員の皆様から今ここで何か審議する必要があることがございましたら、挙手して、お名前を言ってから御発言をお願いいたします。よろしいですか。どうぞ。

中村委員 中村です。

太田会長 中村委員。

中村委員 この委員会に参加させていただいて、何も話さずに、聞いて帰るというのなんですので、感想みたいなものを一言。

太田会長 はい、お願いします。

中村委員 このスポーツ推進計画ですか、その中身を見ても、今日ご説明いただいた活動の調査を見ても、これ以上何をやるんだろうというぐらいいっぱい、いろんなことをやっていらっしゃって、その成果というのかな、それを評価して、より効果的なものを重点的にやるとか、予算をかけずにできるいろんな、今コラボレーションというお話出しましたが、そういったものを探すとか、そういうプラスアルファをどうやってねじり出していくかというのは相当大変そうだなと感じています。とにかく物すごく充実した中身に取り組んでい

らっしゃるので、これをさらによくするというのはなかなか大変だな、そういう感想を持っております。

以上です。

太田会長

中村委員、ありがとうございました。

ついでと言ってはなんですが、根本委員はいかがでしょうか。

根本委員

そうですね。小金井市に住んでいて、今ちょうど子育てしていて、なので、当てはまるというか、こういうイベントがあったんだというところを、それこそ出てきたF C東京のとか、サッカー教室、親子の教室とかというのは息子連れて行かせていただいたりとかして、それこそ小学校で、こういうイベントがあるんだよというお知らせをもらって、じゃあ行ってみようかなというので行くという形で参加したんですけど、やっぱり、今回、全容じゃないですけど、を聞いて、まだこういうのもあったんだと知らないところも結構あったので、そういう意味では、私じゃないですけど、そういう子育ての世代にもっと広げていく方法というのは考えていく必要があるのかなというのを感じました。

太田会長

ありがとうございます。

三枝委員、いかがでしょうか。

三枝委員

私は、推進委員のほうの目線でいくと、よく府中のほうには、ウォーキングというか、散歩で行っています。府中市さんと違うのは、市の行事に推進委員が参加していて、ブースを借りて、例えば体験、ボッチャの体験だとかというのを気軽に市民の方を巻き込んで、例えば桜まつりですとか、何かそういったときに公園の一角でやっていたりとかしているので、小金井は例えばヨーカドーの前の空いているところでそんなのをやってもいいかなとか、ちょっと私のほうの推進委員も今年はいろんな意味でやってみたいなと考えています。なので、ちょっと、この数字を上げるというのは、中村委員からもありましたけど、ある程度のことはやっているんですが、踏み込んでいないのは、家から出ていないで携帯で遊んでいるような子どもたちだとかをいかに表に出すか、引きずり出すかというのが大事で、なので、今のスポーツというのは、テレビつければ大谷さん

がどうのとやっていますけど、二極化なんですね。競技とそうじゃないの。東京都のほうが、「みる・する・支える・応援する」というのが東京都のスポーツ関係のキャッチフレーズになっていまして、その「応援する」とかという部分では大谷さんのテレビを見て応援するとかというのものもあるんだけど、「支える」という部分では推進委員がもうちょっと頑張らなきゃなということですかね。「みる」「する」、「する」の部分が二極化の部分で、ちょっと今、東京都のほうで研修委員長をやっていますけど、二極化のほうで、競技性のもではなくて、ニュースポーツという形で、レクに大分近くなってきていますよね。誰でも、障害者の方でも参加できるようなイベントを企画するようにして、今、頭悩ませていますが、そんなものもあるので、小金井もそういった意味では横串で、スポーツだけじゃなくて、例えば福祉のほうとタッグ組んで、人を集めるのではなくて、集まっているところに行って何かをちょこっとやるとかという活動をしていくほうが、数字を上げるには一番手っ取り早いんじゃないかなと思っています。

以上です。

太田会長

ありがとうございました。

せっかくですので、学校の話もあるかと思いますが、檀原先生、いかがですか。

檀原委員

最初に教育長のほうからの健康寿命という話もありましたし、小学校では体力の向上ということが教育の内容に入ってきますけれども、体力の向上は、小学校でいいますと、どうしても体力を高めるための運動を充実させるとかということがよくうたわれるんですが、私は子どもたちに、本当運動に親しむ、そういう環境を整えることによって、子どもが運動に親しむことを通して自然と体力が向上することを期待しています。そういった意味では、小学校の中に運動に親しむような施設の提供だったり、あるいは気軽に楽しめる機会を増やすということがとても大事だと思っているんですが、第3期、私、やっているんですが、この中でよく話題になったのが、1つは、こういった活動をたくさんしていることをより周知する方法ですね。今いろいろなSNSもありますけれども、そういう取組もかなり今までも取り組んでいると思うんですけども、そういっ

たことを周知することによって、今まで運動していなかった子たちとか、あるいは市民が、あそこに参加してみようと。これまで周知はしているんですが、より充実した周知の仕方がないだろうかということと、あと、学校の施設を見たときに非常に老朽化しているんですね。以前も話したんですけれども、どの学校に行っても、体育館のラインが消えているんですよ。それをテープで貼って補修したりとか、そういった点はちょっと他区市に比べると、修繕が必要なのかなと思っています。当然、予算が絡んでくるので難しいとは思いますが、今回、LED工事が進んだことによって一気に体育館が明るくなって、先日も前原小学校の4時—7時でやっているバドミントンに参加したんですけれども、とても明るくなっていて、前までは暗くて夕方見えなかったんですね。とてもよくなっていました。あとはやっぱり床ですね。床がよくなると、より市民が近くの小学校の体育館を使った、施設開放だったり、そういったものを利用するかななんて思っております。予算が絡んでいるのでなかなかうまくいかないと思いますが、新しい箱物を造るよりも、今ある小学校等の施設をよりちょっと修繕するということもどこかに盛り込んでいただけるとありがたいなと思っているところです。

以上です。

太田会長

ありがとうございます。

岩城委員、いかがでしょうか。また同じようにLEDのことが出たりしていましたけれども。

岩城委員

そうですね。やっぱり体育館、総合体育館、運営をしていると、いろんな皆さん、スポーツ推進委員の方、黄金井倶楽部さんもそうですけど、体育館を使っているいろんなイベントだったり教室だったりというのをやっていってはもちろんいるんですが、周知の方法というところに、こっちからやっぱり動いていかないと、今まで多分周知の方法は同じような周知の方法をしていて、それで、知らなかったこともあったりとかということもあるので、こっちから小学校に行くとか、小金井公園みたいな大きな公園、あそこは都立公園ですけど、なので、東京都さんともいうのもありますけど、小金井公園を、公園を使った何かとか、何か出ていくようなことをして、こっちから出ていって、周知というか、何かをしていかなきゃいけな

いかなというのを考えているのと、あとは、ちょっと声を聞いているのは、障害を持った方たちが、聞いたのはプールのほうなんですけど、要するに、何でしょう。運動する場所とか運動する機会というのは昔と比べると増えてきたんだけど、パラスポーツじゃないですけど、障害を持った方たちがスポーツを教えてもらえるところというのが非常に少ない。そういう場が少ないというのはちょっと何人かから話を聞いていて、それは小金井市に限らずなんですけど、私が前働かせていただいていた足立区とか立川市とかもそうなんですけど、障害を持っている方が運動する場所は増えてきたんだけど、スポーツを習う、教えてもらえるところというのが本当に少ない。そういうところも頭の隅に置いておいて、ちょっと機会をつかっていってあげるというのも大事かなと。

太田会長

なるほど。現場からの具体的なお話、ありがとうございました。
服部委員はいかがでしょう。そういうのに関わっていらっしゃると思いますが。

服部委員

そうですね。この場を借りてちょっと黄金井倶楽部の御紹介をさせていただきますと、実は2006年からNPO法人の形を取って活動をスタートしまして、今年がちょうど20周年に当たります。それをもちまして、今年の実は7月の12日に20周年、感謝の集いというのを実は行う予定にしております。宮地楽器さんのホールを借りて、小さめのホールですけれども、そこで、今までお世話になった方、御協力いただいた方にお集まりいただいて、今まで20年間の活動の総括をやろうということで今計画を進めております。今までやってきたいろんな事業ですとか、これからどういう方向性で進めていくのかといったことをまとめた冊子も今作っておりますので、御希望の方にはまたお配りしたいなと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

太田会長

ありがとうございました。
あと、ほか、皆さんはいかがでしょう。よろしいでしょうか。
では、皆様からいろいろお話がありましたので、また今後に生かしていければと考えております。ほかに特になければ、これで本日の議事は全て終了いたします。では、これをもちまして、

本日の会議を終了いたします。どうもありがとうございました。

では、次回は8月7日ということで。会場はどこですか。

津田主任 会場はまだ決定していないので、また御連絡させていただきます。

太田会長 まだ決定していない。また変わることがありますので、連絡のほうを確認してお越してください。よろしくお願いします。

お疲れさまでした。

—— 了 ——